平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	医療介護連携ICT負担金

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費
細目	1	本庁保健衛生総務費

事業の目的

市民が住み慣れた土地で、安心安全の医療介護サービスを受けられることを推進するため、中核病院や医科診療所、介護事業所や歯科診療所、薬局、訪問看護事業所といった施設をネットワークで結び、それぞれの施設で持っている様々な患者情報を共有し、医療・看護・介護サービスの向上・効率化を目指す。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第2節　地域医療体制の充実

H30年度事業の概要

診療所や歯科診療所、薬局、介護施設等の参加施設を決定し、平成30年10月にシステムの試行稼働を行う予定である。
システムの運用費用は参加施設が負担することになるが、当事業は公益性があり、今後、地域包括ケアを進めていくために必要な事業であることから、行政も維持費を負担する。
400,000円×6カ月＝2,400,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成28年に奈良県より指定を受けた「地域医療・介護連携ICT導入推進事業試行モデル地区」について、導入検討協議会を立ち上げ、医療と介護の連携について協議を重ねてきた。
平成30年度から医療介護ICTシステムを医療介護従事者による任意の団体により運営していく計画である。市民が住み慣れた土地で、安心安全の医療介護サービスを受けられることを推進するための仕組みの一部であり、医療看護介護サービスの向上・効率化を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,400
H30予算額	2,400
H29 当初予算額	
H29 現計予算額	
増減額	2,400

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
（4）地域包括ケアシステム推進関係事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定期予防接種事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	予防接種の実施によって感染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要

定期予防接種を医療機関で接種する。
平成30年度予算額
需用費　205千円
役務費　171千円
委託料　35,648千円
負担金　80千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成28年度接種者数

（単位：人）

種　別	接種者数
ＢＣＧ	134
ヒブワクチン	518
小児肺炎球菌	521
ポリオ（不活化）	11
四種混合（DPT-IPV）	559

種　別	接種者数
ＭＲ	275
水痘	254
日本脳炎（幼児）	400
日本脳炎（学童）	159
二種混合　（DT）	170
B型肝炎	218

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	36,104
H30予算額	36,104
H29 当初予算額	36,939
H29 現計予算額	36,939
増減額	▲ 835

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	31,665	35,429
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む（千円）	43,665	47,429

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	接種者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	3,219	単位	人	3,300	単位	人
単位当たりコスト　（円）	13,565			14,372		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(3)乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者予防接種事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	
	65歳以上の高齢者及び60～65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。 また、肺炎を予防することを目的に高齢者肺炎球菌ワクチンを接種する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法　宇陀市インフルエンザ予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要	
	医療機関において各自予約の上、接種を受ける。 [インフルエンザ対象者] 接種当日満65歳以上の方、60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方→接種回数：1回　自己負担金1,500円以外の費用を補助する。 [高齢者肺炎球菌予防接種対象者] 前年度末日に各64歳、69歳、74歳、79歳、84歳、89歳、94歳、99歳の方、65歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方→接種補助回数：生涯1回　自己負担金2,000円以外の費用を補助する。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

高齢者インフルエンザ接種者数(人)

H25年度	6,071
H26年度	6,366
H27年度	6,263
H28年度	6,462

高齢者肺炎球菌接種者数（人）

H26年度	1,490
H27年度	1,234
H28年度	1,391

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	950
一般財源	36,059
H30予算額	37,009
H29 当初予算額	37,691
H29 現計予算額	37,691
増減額	▲ 682

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	35,464	37,691
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	38,664	40,891

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	接種者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	7,853	単位	人	7,970	単位	人
単位当たりコスト　（円）	4,923			5,131		

特定財源の状況

雑入（自己負担金）　950千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(3)乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁健康づくり費

事業の目的

宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物（がん）・2位心疾患、3位肺炎となっており、がんの早期発見には検診が最も重要である。市民にがん検診の機会を提供するとともに、個別の受診勧奨・再勧奨、がんに関する正しい知識の普及啓発等を行うことにより、がん検診の受診率向上を図り、がんによる死亡率を減少させることを目的とする。

根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要

大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する集団検診（セット検診）と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。
新たに胃がん内視鏡検診を医療機関で実施する。
子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する集団検診（女性のがん検診）と、医療機関個別検診の体制で実施する。
「県がん検診の受診勧奨・再勧奨支援事業」として、がん検診の個別の受診勧奨・再勧奨事業、がん予防推進員養成事業を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年、十数名のがん確定診断者がおり、早期治療につなげている。

	H26年度受診者	H27年度受診者	H28年度受診者
大腸がん検診	2,901	2,571	2,582
胃がん検診	1,819	1,591	1,609
肺がん検診	2,166	1,848	1,954
前立腺がん検診	1,072	936	940
子宮がん検診	865	837	1,101
乳がん検診	941	895	1,092

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	63
市　債	
その他	2,909
一般財源	29,917
H30予算額	32,889
H29当初予算額	28,275
H29現計予算額	28,275
増減額	4,614

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	24,074	28,275
従事職員数【人工】	2.00	1.50
人件費（人工×8,000千円）	16,000	12,000
総事業費：人件費含む（千円）	40,074	40,275

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	受診者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	10,673	単位	人	11,000	単位	人
単位当たりコスト　（円）	3,755			3,661		

特定財源の状況

奈良県がん検診個別勧奨、再勧奨支援事業補助金　63千円
雑入（がん検診自己負担金）　2,909千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(2)がん予防対策等の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診推進事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁健康づくり費

事業の目的

死亡原因の第1位である「がん」を早期発見し早期治療につなげるため、個別の受診勧奨・再勧奨、無料クーポン券の配布、がんに関する正しい知識の普及啓発、精密検査未受診者に対する再勧奨の徹底等を行うことにより、がんによる死亡者数を減少させることを目的とする。

根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進　特別予算
総合計画	基本計画　第2章　第1節　健康づくりの推進

H30年度事業の概要

「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、無料クーポン対象者への個別の受診勧奨・再勧奨、子宮がん及び乳がんのクーポン券等配布、精密検査未受診者に対する受診勧奨を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

H28年度より大腸がん検診はクーポン送付がない。

無料クーポン受診者数	子宮がん検診（人）	乳がん検診（人）	大腸がん検診（人）
H21年度	213	398	—
H22年度	200	361	—
H23年度	198	350	428
H24年度	174	285	423
H25年度	171	283	383
H26年度	115	188	422
H27年度	81	136	387
H28年度	98	151	—

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	599
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,033
H30予算額	4,632
H29 当初予算額	2,477
H29 現計予算額	2,477
増減額	2,155

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,907	1,927
従事職員数【人工】	0.70	0.50
人件費（人工×8,000千円）	5,600	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	7,507	5,927

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	本事業による受診者数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績(見込)	666	単位	人	300	単位	人
単位当たりコスト　（円）	11,272			19,757		

特定財源の状況

がん検診推進事業補助金　599千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2.健康なまちづくりプロジェクト
(2)がん予防対策等の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	子育て世代包括支援事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費

事業の目的

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備を図ると共に、助産師等の専門職が妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを作成することにより妊産婦等への切れ目ない支援を実施する。

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要

悩みを抱える妊産婦等を早期に発見し相談支援をしながら、児童虐待の予防や早期発見に努める。

【単位：千円】

予算科目	金額
賃金（臨時職員）	1,360
需用費	179
役務費	98
合計	1,637

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

妊娠、出産、子育てを切れ目なく支援することで、育児不安やストレスが軽減され、乳幼児の健やかな成長発達や虐待予防につながる。
また、ハイリスク妊婦を妊娠届出の時点で把握し、妊娠期から関わることで出産、出産後の早期支援と継続した関わりができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	818
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	819
H30予算額	1,637
H29当初予算額	
H29現計予算額	
増減額	1,637

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

妊婦・出産包括支援事業補助金
818千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. こども未来創造プロジェクト
(7)母子保健事業の充実

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	妊婦健康診査・母子健康手帳交付事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	
	妊娠経過と出生後の児の成長、予防接種歴を記録する母子健康手帳を妊娠が分った時点で交付する。交付時の保健指導は、妊娠・出産に対する不安や悩みの把握・相談とともに今後の関わりや支援のきっかけの機会となる。 妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診を徹底するため費用を助成する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要	
	母子健康手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴り（39枚分の補助券、1枚2,500円）を発行し、健診時に健診費用として医療機関へ支払う。 母子健康手帳・妊婦健康診査補助券は、健康増進課・中央保健センターで交付。 低所得者を対象に妊娠判定料全額補助事業を実施（市町村民税非課税世帯＜生保含む＞）。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	
	妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。

妊婦健康診査・母子手帳交付

	母子健康手帳交付数	妊婦健康診査	妊娠判定
平成22年度	180件	196件	
平成23年度	198件	173件	
平成24年度	137件	124件	5件
平成25年度	178件	169件	5件
平成26年度	162件	158件	4件
平成27年度	153件	159件	1件
平成28年度	155件	169件	2件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	21
市　債	
その他	
一般財源	15,013
H30予算額	15,034
H29当初予算額	16,984
H29現計予算額	16,984
増減額	▲ 1,950

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	13,272	13,984
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	15,672	16,384

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	妊婦健康診査補助券交付数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	169	単位	人	190	単位	人
単位当たりコスト　（円）	92,734			86,232		

特定財源の状況
妊娠判定受診料補助事業補助金 21千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (7)母子保健事業の充実

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児健康診査

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費

事業の目的

児の発育状況や育児の状況を把握することにより、必要な助言・指導を行い、児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に健康診査を実施する。
発達の節目の時期に合わせて下記の健康診査を実施する。
乳児健康診査（4～5カ月児、10～11カ月児）
1歳6カ月児健康診査
2歳児歯科健康診査
3歳児健康診査

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要

大宇陀・菟田野地域の健康診査は大宇陀保健センター、榛原・室生地域の健康診査は中央保健センターで実施。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

児の発育状況や育児の状況を把握し、児の健康の保持・増進を図るとともに、虐待問題の早期発見の重要な機会となる。そのため、健診未受診者の全数把握に努め、健診受診率100%を目指す。
健診の結果、経過観察等必要な児については、個別面接による継続支援や、心理発達相談員による発達相談などにつなげ発育、発達支援をする。また必要な児には関係機関（子育て支援センター、介護福祉課、教育委員会、幼稚園、保育所など）と連携した育児支援を行っている。

	対象	健診回数
乳児健康診査	4～5カ月児	12
	10～11カ月児	12
健康診査	1歳6カ月児	7
	2歳児歯科	7
	3歳児	8

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,244
H30予算額	2,244
H29 当初予算額	2,147
H29 現計予算額	2,147
増減額	97

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,827	2,147
従事職員数【人工】	2.20	2.20
人件費（人工×8,000千円）	17,600	17,600
総事業費：人件費含む（千円）	20,427	19,747

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	受診者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	738	単位	人	750	単位	人
単位当たりコスト　（円）	27,679			26,329		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(7)母子保健事業の充実

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	育児教室・相談事業（育児支援・発達支援）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費

事業の目的

【訪問支援】新生児、産婦、乳幼児の家庭訪問を通して個別の状況を把握し、きめ細かい指導を実施する。
【育児教室】乳児の保護者を対象に、講義・実習・交流により、知識の普及や保護者同士の交流のきっかけづくりをする。
【発達相談】心理発達相談員による発達相談及び児への関わり方の相談、助言の場とする。

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　第2章　第5節　子育て支援が充実したまち

H30年度事業の概要

【訪問支援】
　乳児（新生児・未熟児）・産婦訪問指導を助産師、保健師により実施（こども未来課の「こんにちは赤ちゃん事業」と連携）。
　その他、健診を受診しない児や経過観察が必要な児も訪問等により指導する。
【育児教室】
　教室形式での育児支援として、ひよこクラス（育児教室）を4クール開催（1クール3回）。
【発達相談】
　年22回、各保健センターで発達相談を実施。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成28年度実績
【訪問支援】
　訪問延件数　　307件
【育児教室（ひよこクラス）】
　3回/1教室×4教室　実施
　参加実人数　45組　　参加延人数　保護者　117人
【カンガルー教室】
　5回実施　実人数8人　延17人実施
　対象者が少ないため平成28年10月で終了。集団野遊びの場を利用しながら、個別対応による経過観察。
【発達相談】
　19回実施　実人数30人　延35人実施

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	36
一般財源	561
H30予算額	597
H29 当初予算額	667
H29 現計予算額	667
増減額	▲ 70

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	453	667
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	4,453	4,667

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	育児教室参加者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	117	単位	人	80	単位	人
単位当たりコスト　（円）	38,060			58,338		

特定財源の状況

雑入（育児教室託児自己負担金）
36千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(7)母子保健事業の充実

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	産婦人科一次救急体制整備負担金

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	平成19年8月に起きた妊婦搬送事案を受け、産婦人科の一次救急体制の整備が最も重要な課題であるとされ、体制確保のために必要な経費を県と市町村で負担する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	周産期医療対策事業実施要綱（奈良県）
総合計画	基本計画　第2章　第2節　地域医療体制の充実

H30年度事業の概要	奈良県を実施主体とし、妊婦の救急時の受け入れを確保する。病院群輪番制及び在宅当番医制による毎休日・夜間の救急体制を確保する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成20年2月から病院群輪番体制及び在宅当番医制により毎休日・夜間に救急体制を確保することができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	693
H30予算額	693
H29当初予算額	592
H29現計予算額	592
増減額	101

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	583	592
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,383	1,392
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	受診患者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	4 単位 人	3 単位 人
単位当たりコスト　（円）	345,750	464,000

特定財源の状況

備考
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4.こども未来創造プロジェクト
(7)母子保健事業の充実

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小児深夜診療負担金

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	
	平成9年度から県の事業として小児2次救急輪番体制を開始したが、1次救急体制が不充分であったため、1次救急患者が2次救急輪番病院に殺到し、診療に支障をきたした。 これを解消すべく、1次救急を行う休日夜間応急診療所の空白時間をなくすような体制づくりを行った。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	橿原市休日夜間応急診療所における小児深夜診療経費に係る負担金に関する協定書
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全･安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要	奈良県を実施主体とし、小児の救急時の受け入れを確保する。奈良県の中南和30市町村により、橿原市休日夜間応急診療所の運営費を負担する。
事業の目標･成果（これまでの成果，今後の見通し）	橿原休日夜間応急診療所において、小児の休日･夜間の受診体制を確保することができる。 平成26年度宇陀市小児受診者数　34人 平成27年度　25人 平成28年度　29人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,173
H30予算額	1,173
H29 当初予算額	1,443
H29 現計予算額	1,443
増減額	▲ 270

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,061	1,443
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	1,861	2,243
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	受診患者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	29 単位 人	40 単位 人
単位当たりコスト　（円）	64,172	56,075

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (7)母子保健事業の充実

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生ごみ処理機等購入助成事業

所管課	103	環境対策課	（市民環境部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

事業の目的

環境衛生事業について、循環型社会の構築として、一般家庭の生ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」・「コンポスト」の普及を図る。

根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章　第3節　循環型社会の構築

H30年度事業の概要

家庭用生ごみ処理機（262千円）
コンポスト・・・・・・・・・・・ 8件　48千円
EMボカシ・・・・・・・・・・・ 1件　4千円
生ごみ処理機・・・・・・・ 7件　210千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。
（成果）
生ごみの減量化及び資源化が図れる。
平成19年度から平成28年度までに199件が設置されている。
平成19年度・・・・・・25件
平成20年度・・・・・・40件
平成21年度・・・・・・35件
平成22年度・・・・・・16件
平成23年度・・・・・・14件
平成24年度・・・・・・18件
平成25年度・・・・・・15件
平成26年度・・・・・・13件
平成27年度・・・・・・13件
平成28年度・・・・・・11件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	262
H30予算額	262
H29 当初予算額	298
H29 現計予算額	298
増減額	▲ 36

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	214	298
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	1,814	1,898
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	10 単位 件	18 単位 件
単位当たりコスト　（円）	181,400	105,444

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(6)循環型環境社会の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集団資源回収助成事業

所管課	103	環境対策課	（市民環境部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

事業の目的

ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収助成制度を実施する。

根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章　第3節　循環型社会の構築

H30年度事業の概要

宇陀市内の登録団体は49団体あり集団資源回収の報告を受け、1kg当たり3円の助成金を交付している。
平成30年度は、回収量560,000kgを見込んでいる。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。

（成果）
平成22年度　664,385kg　助成金・・・・1,993,155円
平成23年度　611,560kg　助成金・・・・1,834,680円
平成24年度　583,090kg　助成金・・・・1,749,270円
平成25年度　583,045kg　助成金・・・・1,749,135円
平成26年度　574,320kg　助成金・・・・1,722,960円
平成27年度　574,350kg　助成金・・・・1,723,050円
平成28年度　543,180kg　助成金・・・・1,629,540円

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,680
H30予算額	1,680
H29 当初予算額	1,899
H29 現計予算額	1,899
増減額	▲ 219

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,630	1,899
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	3,230	3,499

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	回収量					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	543,180	単位	kg	633,000	単位	kg
単位当たりコスト　（円）	6			6		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(6)循環型環境社会の推進

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業

所管課	103	環境対策課	（市民環境部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	合併処理浄化槽整備事業費
細目	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費

事業の目的

生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適で潤いのある生活環境を公共用水域の水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。

根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章　第2節　生活環境の整備

H30年度事業の概要

下水道処理区域の見直し等により、合併処理浄化槽整備区域が拡大され、整備を進めている。
5人槽・・・・10基　332,000円×10基= 3,320,000円
7人槽・・・・21基　414,000円×21基= 8,694,000円
7人槽・・・・ 1基（市費）414,000円× 1基= 414,000円
小附1区地区追加
7人槽・・・・ 2基　414,000円×2基+586,000円×2基
=2,000,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成25年度からの5ヵ年計画により整備率を43%を目標とする。
平成28年度の設置数は25基で、整備率は37%になる。
平成28年度実績
5人槽・・・・・・・9基　補助金額・・・・ 2,660千円
7人槽・・・・・・15基　補助金額・・・・ 6,210千円
小附1区追加分
7人槽・・・・・・ 1基　補助金額・・・・ 1,774千円

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	4,280
県　費	4,280
市　債	
その他	
一般財源	5,868
H30予算額	14,428
H29当初予算額	14,428
H29現計予算額	14,428
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	10,644	14,428
従事職員数【人工】	0.60	0.60
人件費（人工×8,000千円）	4,800	4,800
総事業費：人件費含む（千円）	15,444	19,228

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	設置基数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	25	単位	基	30	単位	基
単位当たりコスト　（円）	617,760			640,933		

特定財源の状況

循環型社会形成推進交付金
4,280千円
合併処理浄化槽設置事業費補助金
4,280千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[地域経済の活性化]
(4)合併処理浄化槽設置整備事業補助金